



各社の報道を独自まとめ

裏金で話題の自民党

政策活動費

政治資金パーティー



WATCHDOG

2024年3月26日の記者会見は、
お世話係の林幹雄議員が記者の追及に代理回答



ばかやろう

二階 俊博 議員

Jimintou



国会議員の政治資金は

使途不明金
当たり前

自由に使える

二階氏の政策活動費は

47億円

幹事長時代の5年間で

汚れ金で捕まった 自民党の国会議員や秘書 会計責任者たち

リクルート事件（受託収賄）で有罪判決
藤波 孝生元議員（1989年）

日歯連からの1億円ヤミ献金事件で有罪判決
旧橋本派（平成研）の会計責任者(2008年)

中国企業からの賄賂 I R 汚職で有罪判決
秋元 司元議員（2021年）

巨額選挙買収の公職選挙法違反で有罪判決
河合 克行元議員（2021年）

政治資金規正法違反で有罪判決
二階 俊博議員の秘書（2024年）



使途非公開の政策活動費は不正の温床

国民の税金から支出している政党交付金は、
自民党へ年間で約160億円。

自民党幹事長室

「政党交付金から政策活動費を支出しておりません」

政治学の専門家

「お金には色はついておらず、交付金を受け取っているからこそ政策活動費を捻出できる構図」

政策活動費の受け取りナンバー1は、
二階 俊博 元幹事長

1日で1億円超を受け取った日も

ほぼ規制なし

政治資金パーティーがワイロの抜け道



個人、企業、団体向けにパーティー券（1枚につき1万円か2万円が相場）を販売する。パーティー券を購入しても、1回につき20万円を超えなければ、名前を知られずに、より大きな額で政治献金が可能。寄附が禁じられている国の補助金を受けた法人や赤字法人、外国人、外国法人など誰でもパーティー券の購入が可能。

1 党独裁の歴史が生んだ歪み
～国民に目を向けず～

自由民主党

01.



バレても抜け道を作る

リクルート事件などを受け、1994年の改正では政治家個人への企業・団体からの政治献金を禁止。99年に資金管理団体への企業・団体献金も禁じた。政治資金パーティーは20万円以下の購入者について収支報告書に記載する必要がなく、企業献金の「抜け道」になっている。

～2023年12月14日付・日本経済新聞より～

02.



トカゲのしっぽ切り

過去には会計責任者や秘書だけが処罰されるケースが多く「トカゲの尻尾切り」とやゆされてきた。連座制の導入など同法を改正し政治家の責任を問いやすくすることが再発防止に欠かせない。

～2024年1月17日付・日本経済新聞より～

03.



忘れるのを待つ

「政倫審をやると決めたのは予算案を通すための材料です。予算審議は来月まで続くので、野党との攻防の材料として小出し小出しにしているわけです。誠実な態度ではないし、時間稼ぎをするのは、国民の怒りが収まって、問題を忘れるのを待っているとしか思えません」

（木原善隆コメンテーター）
～2024年2月26日付・ABCニュースより～

「二階派のパーティーでは、お土産の中に二階さんについて書かれた書籍が入っていることが珍しくありませんでした。書籍といっても、客観的なノンフィクションなどではありません。二階さんの協力で作られたことは明白な、いわゆる“ヨイショ本”の要素が強い書籍です」 (政治記者)

～2024年2月16日付・デイリー新潮より～



政界引退は地元が決める。



政治資金パーティーをめぐる不記載の額は5年間で3526万円と、二階氏が最も多い。

問題発覚を受けて二階氏の事務所は収支報告書を訂正。新たに公開した領収書から明らかになったのは“書籍の爆買い”だった。

～2024年3月30日・TBS「報道特集」より～

